

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【公開番号】特開2012-95917(P2012-95917A)  
【公開日】平成24年5月24日(2012.5.24)  
【年通号数】公開・登録公報2012-020  
【出願番号】特願2010-247662(P2010-247662)  
【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月30日(2012.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

被検者の体内を観察するための観察窓と、定圧送気ガスを噴出する第1の開口とが先端面に形成された内視鏡先端部に取り付ける内視鏡用アタッチメントであって、

前記先端面と離れた位置に設けられた第2の開口と、

前記定圧送気ガスを前記第2の開口から噴出させるように、前記第1の開口と前記第2の開口とを連通させる管路と、

前記第2の開口から噴出される前記定圧送気ガスの噴出領域を、前記観察窓の視野領域と分離する領域分離部材と、

を備えたことを特徴とする内視鏡用アタッチメント。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、被検者の体内を観察するための観察窓と、定圧送気ガスを噴出する第1の開口とが先端面に形成された内視鏡先端部に取り付ける内視鏡用アタッチメントであって、前記先端面と離れた位置に設けられた第2の開口と、前記定圧送気ガスを前記第2の開口から噴出させるように、前記第1の開口と前記第2の開口とを連通させる管路と、前記第2の開口から噴出される前記定圧送気ガスの噴出領域を、前記観察窓の視野領域と分離する領域分離部材と、を備えたことを特徴とする内視鏡用アタッチメントを提供する。